

2024_0219「イチョウ並木の白梅（写真）」日々の理科 3483号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

本学の正門（東門）を入ると、左側が附属小学校、右側が附属高等学校、正面が大学本部棟と講堂、その裏側に私の勤務する研究所があります。正門から大学本部棟までの広い道はイチョウ並木で、14本のイチョウが植わっています。このイチョウは昭和9年に植えられたもので、上皇さまと同じ年ということになります。

そのイチョウ並木の左右に向かい合うようにして、紅梅と白梅の気があります。毎年紅梅は1月下旬か2月上旬に、白梅は2月中旬に咲きます。木そのものも小さく、花の数も少ないのですが、今の時期に咲いている樹花は少ないので、イチョウ並木を歩く人も足を止めて眺めています。附属小学校に勤務していた頃は、毎年この白梅が咲くと「もうすぐ卒業式だな」と思ったものです。

(2024年2月中旬／お茶の水女子大学構内)

